

平成31年2月15日

足立区立扇小学校  
校長 加納 和彦 様

足立区立扇小学校 開かれた学校づくり協議会  
会長 福田 健次

## 平成30年度 学校関係者評価書

### 1. 自己評価書全般について

平成30年度の区学力調査で、目標とした通過率に5%届かなかったことは残念である。学力向上アクションプランとして、様々なことを実践しているという報告を受けたが、その一つ一つをよく吟味して欲しい。また、教員の授業力向上だけでなく学級経営の安定が重要であると強く感じる。在籍する教職員についても理解を深める機会を増やして、今後必要な助言をしていきたいと感じている。

児童の「生活がんばりカード」では肯定的な回答が多いという報告だが、開かれた学校づくり協議会の委員が正門前で行っている挨拶活動の時には元気よく挨拶をすることが苦手な子供が多い。意識しているだけでなく、実践できるように指導して欲しい。

小中連携事業において、近隣の小中学校4校で行う「ふれあいコンサート」を今年度から各校の開かれた学校づくり協議会が共催することになった。扇小学校からも有志児童が合唱隊として多数参加することができた。来年度の扇小創立50周年に向けて、これまで以上に連携を強化して、愛校心や地域への愛着心を育てていきたい。

### 2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

#### ・重点課題1について

今年度4月の学力調査の結果は、目標としていた75%よりも約5%低かった。そして、9月の再調査でも目標の85%を約5%低かったとの報告があった。各学級の授業がきちんと成立しているのか、教員の指導力に問題は無いのか不安に思う意見が委員の中からも出ていた。学力向上とともに学級経営の安定について組織的な実践を充実させて欲しい。

読書活動については昨年と同じ程度の人数が年間読書目標を達成したということである。開かれた学校づくり協議会が行っている「サタデースクール」に合わせて、PTAと教員が図書ボランティア活動を行っているそうだが、今後も継続・発展させて読書を楽しむ子供を育てて欲しい。

そだち指導や特別支援教室の様子について説明があった。学習支援員の個別指導が効果的だという報告もあったが、それぞれがどのような活動を行い、どのような効果があるのか、さらに詳しく把握していきたい。在籍する教職員との交流を深めることにより、今後の助言を充実させていきたい。

#### ・重点課題2について

全校児童の前でも堂々と表現できる子供は少ないだろうと思う。学校に行ったときにこちらから挨拶をしても元気よく挨拶ができる児童が少ないからである。アンケート調査の結果が肯定的であったとしても、実践力が身につけていないのでは困る。しっかりと実践力を育てて欲しい。

外部講師による体験授業が続いている。今年は足立区の教育委員もしている浅井えり子氏によるランニング教室もあったそうだ。今後は卒業生や保護者・地域の人材も活用して欲しい。

#### ・重点課題3について

小中学校が連携して行う授業研究以外に校内研究を追加したとの報告があった。若い教員が授業力向上に向けて努力するのは良いことだが、実際にどのような変化があるのか分からない。学校公開週間などでは、子供の様子を見るだけでなく、一人一人の教員の授業についてもじっくり見ていきたい。

扇小学校は引き続き若手教員が多いという印象である。若手教員が指導力を高めて、元気な姿で子供たちを指導して欲しい。そのためには、ベテランや管理職が若手教員をしっかりと育てて、組織的な人材育成を続けて欲しい。

#### ・重点課題4について

江北桜中学校との連携はますます充実してきていると感じる。元江北中学校の場所に新校舎が完成し、平成31年4月からは扇小の卒業生も通うことになる。今後はさらに連携がしやすくなると考えている。また、同じ地域にある高野小学校・江北小学校を含めた連携事業では、「ふれあいコンサート」を各校の開かれた学校づくり協議会が共催することにして充実させている。扇小からも合唱隊として児童が参加したが、これからも連携事業充実に向けて努力して行って欲しい。

### 3. その他

来年度に扇小学校創立50周年の記念事業を行う。その準備を早めに計画・実施して欲しい。地域と学校・保護者がチームワークよく活動し、記念事業を盛り上げていきたい。

本校の開かれた学校づくり協議会の活動をひとつひとつ検討しながら継続・発展させていきたい。今年度は「給食試食会」を展覧会に合わせて行ったが、給食を食べる会としてではなく、教職員と交流する会にしていきたい。そのような新しい取組みを行うことで、保護者や地域の力を生かした教育活動の改善に取り組んで欲しい。